

4. Column③ : 【交通事故】 知っておきたい後遺障害等級認定の実務⑧

当事務所では、交通事故問題についても、多数の案件に対応しております。

今回は、後遺障害が「首」に残存した場合について解説します。

● 脊髄障害

脊髄障害は、脊髄圧迫骨折等によって発生します。脊髄の後遺障害等級については、脊柱の運動障害と変形障害に着目して、以下のとおり等級が認められます。

☑ 脊柱の運動障害

✓ 脊髄とは？



頭側から尾側の尾骨までの骨の連なりの柱のことをいいます。頭側から頸椎7個、胸椎12個、腰椎5個の合計24個の椎骨が椎間板を挟んで形成されていて、最後の第5腰椎の尾側には仙骨と尾骨がついています（ただし、後遺障害等級表上の「脊柱」の障害には、仙骨及び尾骨は含まれません）

等級	後遺障害
6級5号	脊柱に著しい変形または運動障害を残すもの。次のいずれかにより頸部及び胸腰部が強直したものの。 ① 頸椎及び胸腰椎のそれぞれに脊椎圧迫骨折等が存しており、そのことがエックス線写真等により確認できるもの ② 頸椎及び胸腰椎のそれぞれに脊椎固定術が行われたもの ③ 項背腰部軟部組織に明らかな器質的变化が認められるもの
8級2号	脊柱に運動障害を残すもの。次のいずれかにより、頸部又は胸腰部の可動域が参考可動域角度の2分の1以下に制限されたものをいいます。 ① 頸椎又は胸腰椎に脊椎圧迫骨折等が存しており、そのことがエックス線写真等により確認できるもの ② 頸椎又は胸腰椎に脊椎固定術が行われたもの ③ 項背腰部軟部組織に明らかな器質的变化が認められるもの

☑ 脊柱の変形障害

等級	後遺障害
6級5号	脊柱に著しい変形を残すもの。 ① 2個以上の椎体の前方椎体高が当該椎体の後方椎体高と比べて減少し、減少したすべての椎体の後方椎体高の合計と減少椎体高の合計との差が、減少した椎体の後方椎体高の1個当たりの高さ以上となっているもの ② コブ法による側彎度が50度以上となっているとともに、1個以上の椎体の前方椎体高が当該椎体の後方椎体高と比べ減少し、減少したすべての椎体の後方椎体高の合計と減少後の前方椎体高の合計との差が、減少した椎体の後方椎体高の1個あたりの高さの50%以上となっているもの
8級2号	脊柱に中程度の変形を残すもの ① 1個以上の椎体の前方椎体高が当該椎体の後方椎体高と比べ減少し、減少したすべての椎体の後方椎体高の合計と減少後の前方椎体高の合計との差が、減少した椎体の後方椎体高の1個あたりの高さの50%以上となっているもの ② コブ法による側彎度が50度以上あるもの
11級7号	脊柱に変形を残すもの ① 脊椎圧迫骨折等を残しており、そのことがエックス線写真等により確認できるもの ② 脊椎固定術が行われたもの ③ 3個以上の脊椎について、椎弓切除術等の椎弓形成術を受けたもの

● 食道

食道が狭くなってしまい、食べ物が飲み込みづらい自覚症状がある場合は、後遺障害の対象となる場合があります。食道が狭くなったことによって、造影剤のうっ滞が認められる場合には、後遺障害等級が認定されます

☑ 認定される可能性のある後遺障害等級

等級	後遺障害
9級	食道狭窄による通過障害

● むちうち

✓ むちうちとは？

交通事故などの衝撃により、首の部分がむちがしなるように前後に連続して大きく動くために、筋肉、靭帯、椎間板（つかんばん）、血管などが損傷するものをいいます。首の痛みはもちろん、神経を傷ついていると手足のしびれや倦怠感、めまいなどの症状もおこします。

● 頸椎捻挫

むちうちの大部分が、この頸椎捻挫です。いわゆる首の捻挫です。首・肩・背中のコリや痛みなどが起こります。

● バレー・ルー症状型

衝撃が首の骨を通り越して、自律神経まで傷つけた際に発症するものを言います。めまいや耳鳴り、息苦しさなどを引き起こします。

● 神経根症状型

神経を支える根本が引き伸ばされたり、圧縮され負荷を受けるケースです。身体の各部位に痺れを感じたり、力が入らないような症状が出ます。

● 脊髄症状型

直接脊髄まで損傷してしまう症状です。体にマヒが残り、知覚障害や歩行障害を併発してしまうことがあります。後遺障害として体に症状が残ってしまう可能性のある、非常に危険な症状です。

● 脳髄液減少症

事故の衝撃により脳髄液が漏れだし、様々な症状を併発してしまう場合もあります。全身の痛み、聴力・資力・味覚障害、倦怠感、自律神経症などを引き起こします。

☑ 認定される可能性のある後遺障害等級

等級	後遺障害
12級13号	局部に頑固な神経症状を残すもの
14級9号	局部に神経症状を残すもの

各部位の詳しい説明は、交通事故サイトへ！
交通事故専門サイト ▶ <http://jiko.nagasesogo.com>